

おはようロスアンゼルス

倫理研究所U.S.A. 南カリフォルニア倫理の会

4月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

rinriUSA711@gmail.com

2018年(平成30年) 4月1日(日)

NO. 200



地の部【18】 第66号 滝川 政和

信の字に力がみなぎっている
全体のバランスが良くすばらしい。

須郷会長夫妻を迎えて

二月十八日(日)ブラジル倫理研究所会長・サンパウロ倫理法人会会長の須郷清孝氏と奥様の昭代さんをお迎えして「朝の集い」を行いました。講話は法人レクチャラー須郷清孝氏がされました。

日系二世である清孝氏は、昭代さんに請われて二〇〇四年、サンパウロ市で行われた倫理セミナーに参加。その時感動して入会されました。

須郷夫妻が住むアメリカナ市はサンパウロ市から二〇〇キロ離れているので、どうしても必要と支部を立ち上げられました。アメリカナ市で「倫理の集い」をするにはポルトガル語での普及が必須であると思われた清孝氏は、

二〇〇九年に『万人幸福の葉』をポルトガル語に訳して出版されました。そのお陰でブラジル人の「朝の集い」参加が増え、今では支部は四つにまでなりました。家族で参加する会員も多く、沢山の素晴らしい体験報告も出てきていますということでした。

清孝氏は二〇一〇年に倫理の会長職を受けられ二〇一二年、ご自分が経営する縫製工場を閉じ、引退されました。その後、心にぽっかりと穴

があいたような状態になり、ある日「耳鳴り」という不快感に悩まされ、ドクターに行き往診を受けるが、原因不明でどうすることも出来ず、戴いた薬を飲み続けるも一向に

「耳鳴り」が治まりませんでした。気持ちが悪くなり精神状態がとて不安定になりました。「耳鳴り」は何を私に教えてくれているのだろうかと考えました。何事も受け止めること―妻の話を中心として聞くこと―等。その時『丸山敏雄伝』を読んだのです。そして、丸山敏雄先生の亡くなる直前の最後の五つの言葉、

急ぐな

先のことには心配するな
自然にまかせて処置をとれ

これがよい
よろこべ

この言葉に触れて、「これが良い」とは、苦難を喜んで受け止めよということなのだと思えるようになり、薬を少しづつ少なくし、とうとう薬をやめることが出来たと喜びのお話しをされました。

昭代さんはユーモアたっぷりにご自身の倫理の役職のことや趣味で四十年されている茶道准教授を気張らずに続けていく話されました。今はドラムの練習に夢中になっており、叩くことでストレスが発散するので気持ちがいいですよと笑顔で話されました。

其の後ブラジルの現状を話してくださり、驚くことばかりでした。

貯蓄のできない国、長期の計画のできない国、正直は通用しない国、常にインフレ感ありの国、明日の分からない国……

生活するには大変な国だなーと思いました。昭代さんのお話の中に、ご苦労を感じさせない明るさとしなやかさを感じ、感激しつつ、聞き入りました。

南米、北米の倫理会員が共に同じ時間を持ち、須郷(夫妻の

素晴らしい講話を聞かせて頂き、倫理の絆が一層強まった思いがしました。又のお越しをお待ち致しております。

ありがとうございます。
(参加者二十八名)
(梅本和子記)

倫理文化講演会

『ともに生きる』

六月三日

ホリデーイン・トール
ンス

吉川和儀部長



『新世』三月号、四十六頁に吉川部長が書いておられます。すばらしい内容です。是非お読みになり、講演会に、お友達をお誘いください。

